

経済同友会  
子どもの貧困・機会格差問題部会  
平成29年4月25日（火）

# 子どもへの予算シフトが 日本を救う ～関西唯一の人口V字回復の理由～

いずみ  
**泉**

ふさ ほ  
**房穂**

明石市長・弁護士・社会福祉士

# 自己紹介

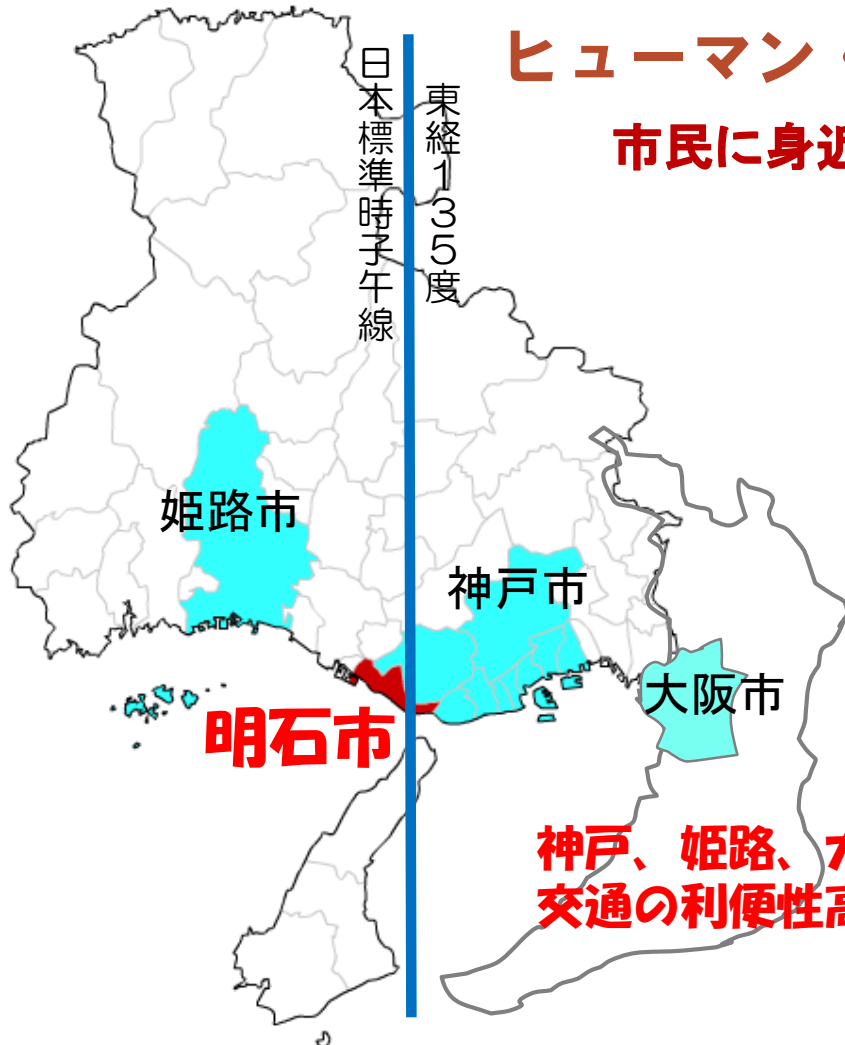
## 泉 房穂(いずみ ふさほ)

- 1963年 明石生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- 元衆議院議員  
超党派での議員立法制定に奔走
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長 (現在2期目)
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人



# 明石市の概要

ヒューマン・ジャストサイズ・シティ  
市民に身近で 自立経営可能な まち



人口	約30万人
面積	約50km <sup>2</sup>

神戸、姫路、大阪の近隣  
交通の利便性高し！！

# 明石市の概要

news

行きたいまち  
住みたいまち  
応援したいまち



B-1 グランプリスペシャルin東京 (2016/12)



子午線上に建つ  
明石市立天文科学館

時の  
まち



歴史の  
まち

明石城はさくらの名所



世界最長  
明石海峡大橋



海の  
まち

愛されるブランド  
明石鯛



明石たこ大使 さかなぐん



© 2015 ANAN AND Tm.

# 一 今、明石が熱い！



- 1 **人口減少社会**といわれるなかで
- 2 **少子化**といわれるなかで
- 3 **地方財政の危機**といわれるなかで
- 4 **地方都市の埋没**がいわれるなかで

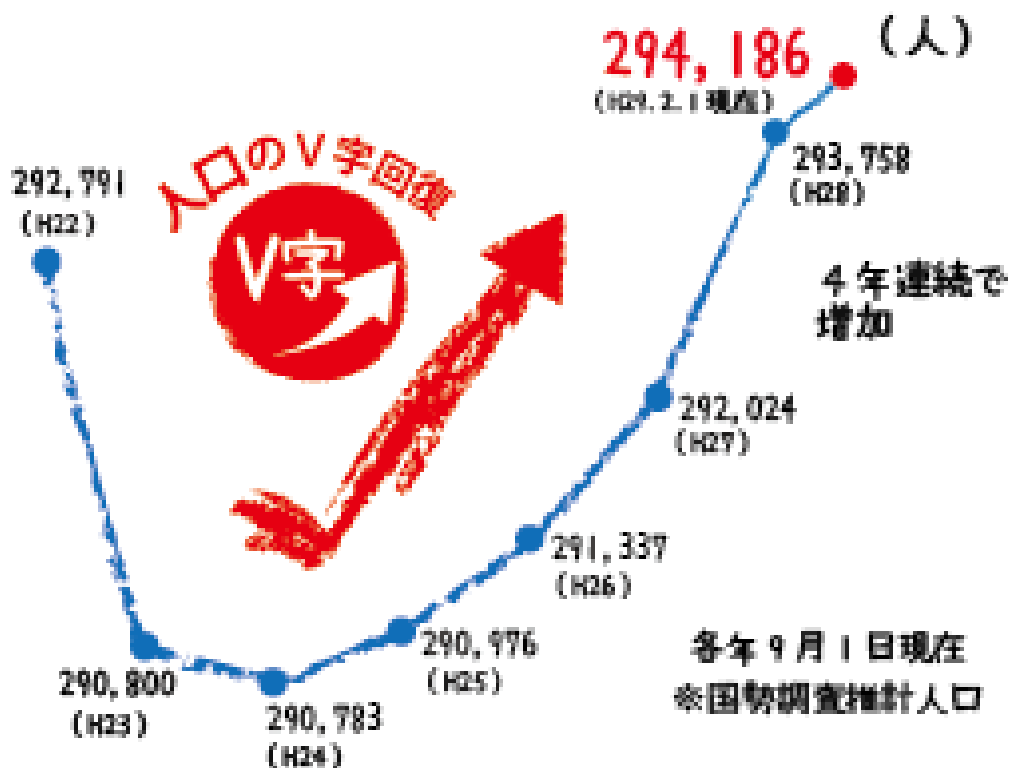


一 今、明石が熱い

# 1 人口減少社会といわれるなかで

## 人口のV字回復

⇒人口減少から一転して 4年連続増加



### <Point>

- ・周辺自治体から流入中
- ・子育て世代が流入中



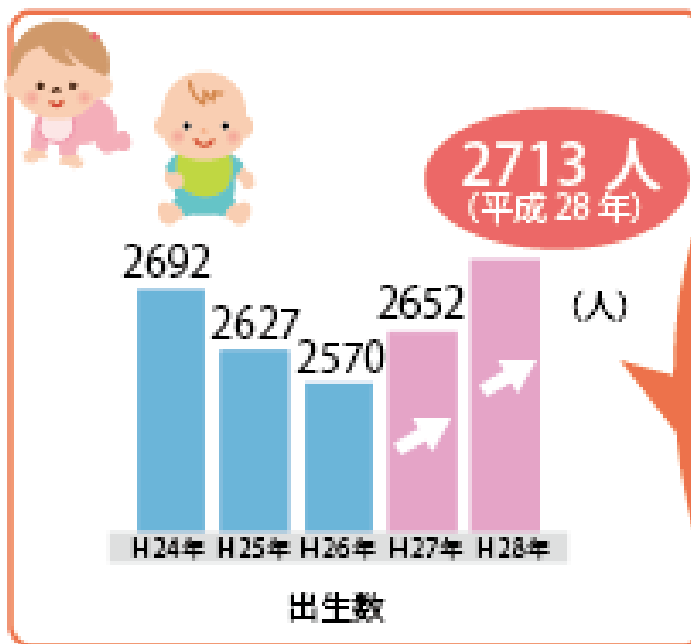
一 今、明石が熱い

## 2 少子化といわれるなかで

### 出生数の回復

⇒生まれてくる赤ちゃんの数も

減少から一転して 2年連続増加



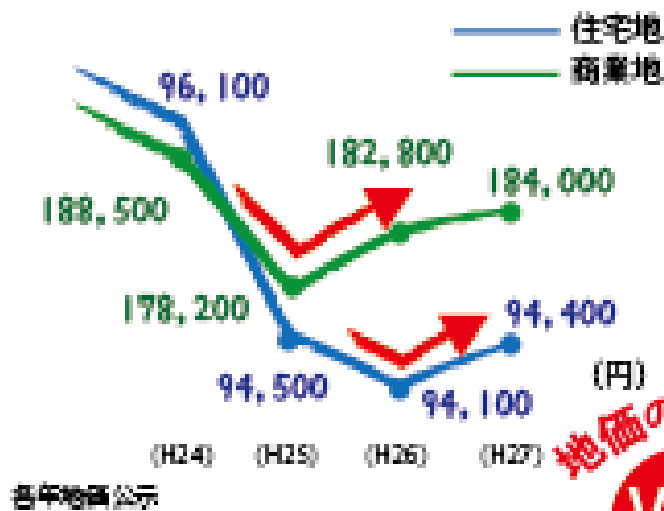
赤ちゃんの数も  
増えています！

一 今、明石が熱い

### 3 地方財政の危機といわれるなかで

## 財政収支の黒字化

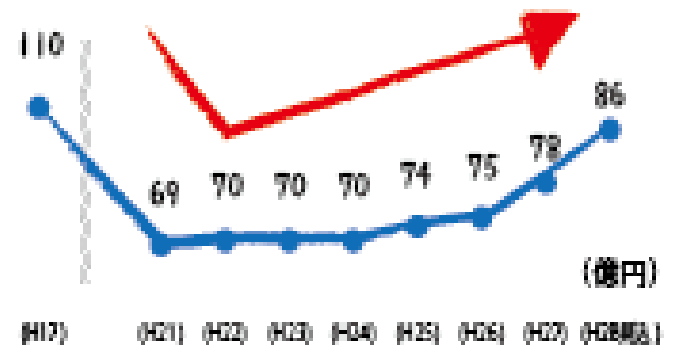
⇒市の基金残高も 4年連続増加



基金のV字回復



収支均衡の実現



<Point>

・明石駅前の高層マンション即日完売

<Point>

・基金残高も増加（収支均衡実現）





## 二 この講演で伝えたいこと

### 1 子どもへの投資が、

**まちの好循環**を生み出す



法政大学  
湯浅 教授



これぞ “アカシノミクス”

## 二 この講演で伝えたいこと

### 2 子ども施策の重点化は、今すぐに可能

① お金も余っている

② 人材も確保できる

③ まちも理解してくれる



## 二 この講演で伝えたいこと

### 3 私たちのこれから

**格差社会** から **“やさしい社会”** へ

子どもを核としたまちづくりへのシフト  
“やさしい社会” を明石から





# 三 ライフワークとしての子ども

## 1 小中高時代

歩けない子どもへの理不尽な差別との闘い

⇒自分自身の原点

## 2 学生時代

教育哲学専攻

⇒子どもを“個”としてみない日本社会への驚き

## 3 マスコミ時代

いじめ自殺や体罰事件などの取材

⇒社会システムの不備を再認識

## 4 弁護士時代

離婚調停の代理人など

⇒子どもに冷淡な日本の司法に対する憤り



### 三 ライフワークとしての子ども

#### 5 国会議員時代

子どもに無関心な政治家や官僚たち  
⇒子どもへの政治の貧困を痛感

#### 6 市長時代

児童相談所も当然に開設  
⇒子どもに最も身近な行政機関の責任として

#### 7 ライフワーク

支援を必要とする全ての人に、  
その人が必要とする支援を



## 四 子どもを核としたまちづくり (明石市のスタンス)

### 1 まちづくりの**基本理念**

**すべての子どもたち**を、



**まちのみんな**で本気で応援

### 2 明石市の**子ども施策の7つのポイント** 支援の…

①視点 ②対象 ③責任 ④主体 ⑤手法 ⑥内容 ⑦効果

## 四 子どもを核としたまちづくり（明石市のスタンス）

# 1 まちづくりの基本理念

《市長選に立候補したときからの変わらぬ思い》

まちをつくるのは“ひと”

これからの明石のまちをつくるのは、

今の明石の子どもたち

子どもたちに借金を残すような税金の無駄遣いをやめ

頑張る子どもたちをまち全体で応援する

そんな明石をつくっていきたい

それが明石の未来につながると信じている

（市長選 法定選挙ビラに掲載した一文より）

# 四 子どもを核としたまちづくり（明石市のスタンス）

## 2 子ども施策の7つのポイント

### ① 支援の視点：**子ども目線**

一人ひとりに寄り添って ⇔ × 行政目線や親目線

### ② 支援の対象：**すべての子**

誰一人として見捨てない ⇔ × 貧困家庭限定

### ③ 支援の責任：**まち**

行政や地域や市民みんな ⇔ × 親だけに責任

### ④ 支援の主体：**みんなで応援**

子ども食堂、ごはん里親、こども基金など

## 四 子どもを核としたまちづくり（明石市のスタンス）

# 2 子ども施策の7つのポイント

### ⑤ 支援の手法：**本気で**

ワンストップ、チームアプローチ、アウトリーチ

### ⑥ 支援の内容：**あれもこれも**

子どもたちのためにできることは全部やる

### ⑦ 支援の効果：**まちの発展**

人口V字回復、出生数増加、財政黒字化など



# 五 明石市の子ども総合支援策 (取り組みの内容)

## 1 子育て応援 ⇒ 経済的負担の軽減

医療費 保育料 公共施設入場料の無料化

## 2 学びを応援 ⇒ 教育環境の充実

30人学級の導入 学校給食の完全実施 など

## 3 元気を支える ⇒ 健やかな育ちを支援

母子健康手帳交付時の妊婦全数面接、  
保健師家庭訪問 など



## 五 明石市の子ども総合支援策 (取り組みの内容)

- 4 **寄り添う支援** ⇒ その子どもに必要な支援を  
離婚時の子ども支援（養育費・面会交流）  
無戸籍児支援 など
- 5 **虐待防止** ⇒ 子どもの命を本気で守る  
児童相談所や児童養護施設の開設、  
乳幼児への全数面接 など
- 6 **地域づくり** ⇒ まちのみんなで支える  
子ども食堂、ごはん里親、  
地域総合支援センターの開設 など

## 六 児童相談所の重要性（虐待防止の要）

1 明石市における児童相談所の位置づけ

⇒ **こども総合支援システムの中核**

（総合指令本部的役割を期待）



## 六 児童相談所の重要性（虐待防止の要）

### 2 児童相談所開設に向けての明石市の現状

- ① 施設名称：**明石こどもセンター**  
（児童相談所 & 子育て支援センター）
- ② 開設時期：**平成31年4月**  
（児童福祉法の改正後、全国初）
- ③ 開設場所：**JR大久保駅前一等地**（徒歩1分）  
（人口再密集エリアに児童相談所を開設）
- ④ 一時保護所：**児童相談所と同時開設**  
（個室対応、30人まで受入れ可）

## 六 児童相談所の重要性（虐待防止の要）

### 2 児童相談所開設に向けての明石市の現状

⑤ 人的体制：**国基準を質量とも上回る体制**

（専門職を全国公募で順次採用中）

⑥ 常勤弁護士：**弁護士兼児童福祉司 2名体制**

（明石市の常勤弁護士：7名 更に3名採用予定）

⑦ 人材育成：**全国の児童相談所に研修派遣**

（県への派遣職員は市内案件を実際に担当）





# 六 児童相談所の重要性（虐待防止の要）

## 2 児童相談所開設に向けての明石市の現状

⑧ 関連施設整備：**児童養護施設**（H29.4開設）  
**保健所**（H30.4開設予定）

⑨ 国との連携：**厚労省からの支援**

- ・ 厚労省との人事交流
- ・ 施設整備費の助成
- ・ 大臣メッセージの寄稿 など

# 七 経済同友会への期待



- 1 より積極的な**提言活動**を  
明石モデルを全国へ
- 2 **市長会との更なる連携**を  
子どもフォーラムの開催など

八 さいごに

**子どもの未来は、社会の未来**

